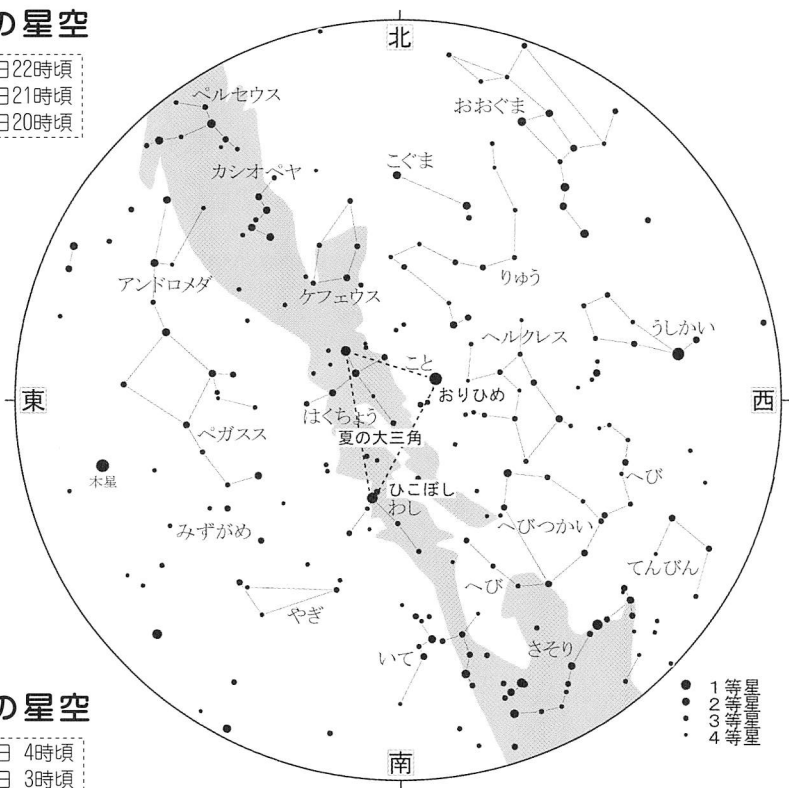




★星空ガイド 8月16日～9月15日

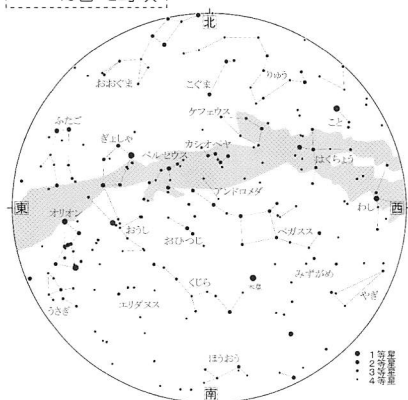
よいの星空

8月16日 22時頃
9月 1日 21時頃
15日 20時頃



あけの星空

8月16日 4時頃
9月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	月	5:18	18:45	12:08	22:22	6.0
	21	土	5:22	18:39	16:33	1:52	11.0
	26	木	5:26	18:33	19:00	6:35	16.0
9	1	水	5:30	18:25	22:23	12:20	22.0
	6	月	5:34	18:18	2:39	16:35	27.0
	11	土	5:37	18:11	8:41	19:36	2.7
	15	水	5:40	18:05	12:59	22:49	6.7

※惑星は2010年9月1日の位置です。

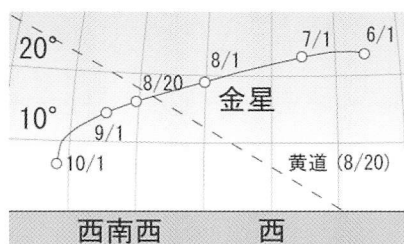
<伝統的七夕>

8月16日は旧七夕です。もともと七夕は、現在使われているこよみの7月7日ではなく、江戸時代まで使われていたこよみ（いわゆる旧暦）の7月7日の行事でした。旧暦は現在、公に使われておらず正式なものはありませんが、今年は8月16日が旧七夕の日とされています。

七夕は織姫と彦星が年に一度、天の川を渡って会うことを許された日です。昔のこよみは現在のこよみと比べて、およそ一月遅れています。今のこよみの7月7日は梅雨の最中にあたり、織姫や彦星もまだ東の空低い位置にしか見えませんが、旧七夕の日の頃になると梅雨もあけ、織姫や彦星も空の高い位置に見えるようになります（左ページ参照）。そのため七夕の行事は、旧七夕の日の方がよりふさわしいと言えるかもしれません。国立天文台でも、旧暦7月7日を伝統的七夕と呼んで、この日に七夕の星を楽しもうと呼びかけています。

<金星が東方最大離角>

夕方、西の空で明るく輝いている金星が、8月20日に東方最大離角となります。これは、金星が太陽から最も東側に離れる日です。金星は地球の内側を回っている惑星のため、太陽からあまり離れることはなく、角度にして太陽より47度以上離れて見えることはありません。8月20日は金星が太陽と、最大離れて見える日ということになります。ただし今回の場合、太陽から離れると言っても、太陽と金星を結んだ線がかなり地平線寄りに傾いているため、日没時の金星の高度はむしろそれ以前の方が高くなっています。



夕方西天の金星(日没30分後)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
8	16	月	旧七夕
	17	火	●上弦(3時)
	19	木	金星と火星が最接近
	20	金	海王星が衝/金星が東方最大離角
	23	月	処暑
	25	水	○満月(15時)
	27	金	月と木星がならぶ

月	日	曜	主な天文現象など
9	1	水	二百十日
	2	木	●下弦(2時)
	3	金	水星が内合
	8	水	●新月(19時)/白露
	11	土	月と金星、火星が接近(南アフリカなどで金星食)
	15	水	●上弦(15時)

江越 航(科学館学芸員)